



ニュースレター

2017年1月号

あけましておめでとうございます！

2017年という新しい年が始まりました。

去年は、大事なワンちゃんやネコちゃんとどのような一年だったでしょうか？一緒に生活していく中で、たくさんの思い出があったかと思います。

昨年と同様に、今年もたくさんの思い出を作っていただくために、動物病院として手助けができるようにしていきたいと思います。

この時期、間違っ**て**食べさせないよう注意！

昨年も書かせていただきましたが、年末年始は、普段とは違う食事になるため、ワンちゃん、ネコちゃんに食べさせちゃいけないものを食べさせてしまう事が多いです。

それらを口にしてしまうと中毒を起こしてしまうため、注意が必要になります。

この機会に振り返っておきましょう！

意外！？ 食べさせちゃいけないもの

・ネギ類

ワンちゃんの赤血球に反応する物質が含まれています。
貧血などが起こる可能性があります。



・ニンニク

ネギと同様に、貧血などが起こる可能性があります。



・ブドウ類、レーズン

最近、中毒を起こすと発表された果物です。
腎臓障害や重度の場合は死に至ることもあります。皮も同様です。



・はちみつ

ボツリヌス菌が含まれることがあります。
特に、子犬や子猫には食べさせないようにしましょう。



・チョコレート、カカオ類

原料のカカオに含まれている成分が中毒を起こします。



・生の卵白

生の卵白はイヌの皮膚病や神経に疾患をもたらすことがあります。
与える場合は加熱が必要です。



• みかん

柑橘系の果物は、茎、葉、皮に中毒性のものを含んでいます。そのため、あげる際は、中の皮もむき果肉を少量あげるのは、問題ないですが、軟便や嘔吐の原因にもなりますので気を付けましょう。



• ごぼう

食物繊維を多く含み、アクが強いいため与えることはお勧めしません。



• あわびなど貝類

人にとっては美味しいものでも、ワンちゃん達にとっては、中毒性のものが含まれていたり、消化に悪いものでもあります。



• お餅

人のお年寄りでもそうですが、喉をつまらせる原因になります。特に、ちゃんと咀嚼しない生き物ですので、余計詰まらせる原因になります。



• 栗きんとん

人にとっては、甘く感じる栗きんとんは、ワンちゃんなどにとっては、少量だとしても、かなりの糖分になります。



この時期は、たくさんの方が集まり、にぎやかになります。その雰囲気ですべては食べさせてはいけないものを食べさせてしまったり、動物を飼った事がない方が、間違っして食事を与えてしまう事がありますので、お気を付けください。

学べる ワンニャン語クイズ

問題1：ワンちゃんが、たまに伏せた状態で寝ます。どんな気分で寝ているのでしょうか？

- ① 熟睡したら危険だから警戒中。 (答えは下です。)
- ② この姿勢が落ち着くなあ～。
- ③ お腹が涼しいだよね～。

問題2：ネコちゃんが「な～お」と鳴くときがありますが。どんな気持ちでしょう？

- ① 恋しちゃった～。 (答えは下です。)
- ② さみしい～よ～。
- ③ お腹空いたなあ～

老人ホームのお年寄りが、子猫を救う

米アリゾナ州を拠点に活動する動物保護団体『Pima Animal Care Center』では、ある日育児放棄された2匹の子猫、ピーチとタートルを保護しました。しかし、保護した事はいいいものの、2匹とも、まだ生まれたばかりの赤ちゃん猫だったため、一時も目を離すことが出来ず、その世話をするのはとにかく大変で、他の保護動物の世話をしている団体職員さんの体力も資金ももうほとんど限界の状態にありました。

そんな窮状を解決に導いたのは、『老人ホームで子育て大作戦』！それは老人ホームで子猫を引き取り育てるというプログラムで、老人ホームであれば24時間態勢で人がいる為、子猫を見守り続けることは可能となり、子猫を世話するという経験は老人達にとって良い効果があるのではないかという狙いもありました。

この大作戦によって、老人ホームの住人たちは、新しくやって来た 出典: <http://www.lovemeow.com> その小さな家族を心から大歓迎してくれました。子猫の世話をするお年寄りからは、笑顔があふれ、保護された猫ちゃん達はすくすくと成長していきました。



愛犬のために、カンガルーと戦った男

豪ニューサウスウェールズ州郊外でイノシシ狩りをしていたグレイグ・トンキンスさんは、車で移動中に、カンガルーにヘッドロックをかけられているワンちゃんを見かけました。トンキンスさんはすぐにつけ、カンガルーにパンチを浴びせ、ワンちゃんを解放し逃がしました。

専門家によれば、「怪我がなかったのはラッキーです。通常カンガルーは後ろ足で、力強くキックする事があり、食らっていたらお腹が避けていたでしょう」との事。トンキンスさんもワンちゃんも無事でなによりです。

答え 問題1 ① 怖がりなワンちゃんにとって、寝るときも慎重なんです。体を伏せることで、すぐに立ち上がれ、あごを床につけていれば物音をキャッチできるようになっているんです。

問題2 ① ネコちゃんは、年に数回発情期を迎えます。この時期はメスガ、異性へのアピールとして、このような鳴き声を出し、オスガその鳴き声を真似る事で力強さをアピールします。

砂漠に捨てられた靴と思ったら、ワンちゃん

ある日、砂漠の中を運転していた男性が、放置された靴が動いたため靴の中をみたところ、1匹のワンちゃんが。

炎天下の中で、しかも靴の中という熱い状況で放置されたわけですから、熱中症や脱水症状をおこしてもおかしくなかったのですが、運よく助けられたため、命に別状はありませんでした。

未だ放置した飼い主の特定は至っていませんが、新しい飼い主の元で大切に育てられ、幸せに暮らしているそうです。

飼えなくなった時、誰かに相談しワンちゃんの幸せのためにも、捨てようと思わないで欲しいと思います。

家を改造して作った「猫ちゃんの楽園」

世の中には、野良猫に餌をあげて、猫ちゃんと暮らす方や保健所で殺処分になる寸前に助け出して、猫ちゃんを保護する団体などありますが、ニューヨーク州のクリス・アーセナウルトさんは、ビックリな事をしました。

それは、家を大改造し、300匹の猫ちゃんと一緒に過ごせるシェルターを作ってしまった。

中はキャットウォークなどがあり、猫ちゃんが歩いたり寝そべったりできるようになっており、外は暖房が効いたテントで寒くないようになっています。

こんなに猫ちゃんがいるわけですから、騒音や糞尿などで、ご近所さんからのクレームがあるかと思いきや無いそうです。

現在、猫の世話などはボランティアにお願いしており、週に約11万円以上かかる食費は、寄付でまかなっているそうです。

こんなに充実している施設ですから、路上で飢えている猫ちゃんにしてみたら、楽園の場所だと実感するかと思います。



本の広場

ねこ検定 公式テキスト



最近、猫ブームなど言われたりしますが、「ねこ検定」なる猫ちゃんの事が大好きな飼主様にとっては、たまらない検定がこの度誕生しました。

本検定のプロデュースしたのは、「猫ちゃんに関する本やグッズが揃っている本屋」として、テレビや雑誌などで取り上げられる「神保町にゃんこ堂」さんです。

単なる猫の検定かと思いきや、猫の歴史や文化、生態、猫の登場する文学や映画作品に至るまで、猫に関する幅広い知識を問われる本格的な検定となっています。

今回ご紹介するのは公式テキストですが、実際の検定は3月に実施されます。

検定自体は、初級、中級と二つございますので、ぜひ受験してみたいはかがでしょうか？

大好きな猫ちゃんの事をもっと知り、

猫ちゃんの事をもっと好きになってしまう1冊です。